

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

| 科目番号 | 科目名 | 担当者名 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|---|-------------------------------|---|--|-----|--------|---------|
| 32402 | 企業・経営のしくみ Corporate System | 早川周 | 専門 | 2 | 選択 | 1・2年 前期 |
| 科目の概要 | | | | | | |
| この科目のテーマは「企業・経営のしくみを理解する」、「求人票等からその企業を知る方法を理解する」で、企業・経営のしくみの基礎を説明する。受講生が就職活動で目にする企業の「求人票」や「ホームページ」を素材に、そこに現われ、読み取ることのできる「企業(株式会社)の仕組みと役割」について学ぶ。受講生は就職活動における企業研究に役立つ基礎知識を身につけることができる。 | | | | | | |
| 学修内容 | | | 到達目標 | | | |
| ① 会社、企業の特徴、働きを理解する。 ② 企業で働くことの意味を認識する。 ③ 求人票、企業のホームページの見方を知る。 | | | ① 企業経営のしくみを説明することができる ② 新聞等の企業に関する報道を理解することができる ③ 自ら求人票、企業のホームページを見て、企業研究ができる | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める具体的な社会人基礎力の行動事例 | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | この科目を履修して、企業・経営のしくみを理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、印刷教材を読み新聞、テレビ、インターネットなどの企業活動に関わる記事、ニュース、情報に関心を持つ。 | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | |
| | 実行力 | 新聞、テレビ、インターネットなどの企業活動に関わる記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。 | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 企業活動がどのような原因で発生しているか考えてみる。 | | | | |
| | 計画力 | | | | | |
| | 創造力 | 企業活動の原因、企業の問題に対する対策を自分なりに考えてみる。 | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 教員からの発問に対して自分の意見を言うことができる。 授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 | | | | |
| | 傾聴力 | 教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との違いを考える。 | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | |
| | 規律性 | 5回の授業の実施に対し3回以上欠席した場合、授業を3回連続して欠席した場合はオフィスアワーに担当教員の研究室に行き、補習、助言を受ける。 | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | |
| テキスト:特に指定しない。毎回の授業では、プリント(「授業のポイント(今回・次回)」資料、参考資料、演習・復習・ふりかえりシート)を配布する 参考文献:なし | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | |
| 他項目との関連:「ビジネススタディユニットの各科目」、「キャリアデザイン I ~IV」 資格との関連:「情報処理士」、「ビジネス実務士」 | | | | | | |
| 学習上の助言 | | | 受講生とのルール | | | |
| ① 講義形式を中心とするが、受講生の参加(授業中の発言、振り返りシートの記入)を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り(新聞、テレビ、インターネット等含む)にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。 | | | ① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分、注意する。 ② 欠席はやむをえない場合以外はしないようにする。また、連続して欠席をしないようにする。 | | | |

【評価方法】

| 評価方法 | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する点、評価についてのコメント |
|------------------|-------|------|---|--|
| 筆記試験 | | | | |
| 小テスト | 20 | ① | ✓ | ① 要点・用語試験(20点) ・授業の要点(ポイント)、授業で出てきた用語(キーワード)について、その意味を理解しているかどうかを評価する。 |
| | | ② | | |
| | | ③ | | |
| | | | | |
| レポート | 70 | ① | ✓ | ① 企業研究レポート(全員必須、1,600字程度)(35点) ・自分の関心のある企業について調べ、レポートを作成する。 ② 「自分を知る」レポート(全員必須、1,600字程度)(35点) ・就職活動で重要になる「自分を知ること」を実践して、レポートを作成する |
| | | ② | ✓ | |
| | | ③ | | |
| | | | | |
| 成果発表 (口頭・実技) | | | | |
| 作品 | | | | |
| 社会人基礎力 (学修態度) | 10 | ① | ✓ | (主体性) ・この科目を履修して、「企業・経営のしくみ」を理解しようとする気持ちを持つと同時に、シラバス、印刷教材を読み新聞、テレビ、インターネットなどの企業活動に関わる記事、ニュース、情報に関心を持つ。 (実行力) ・新聞、テレビ、インターネットなどの企業活動に関わる記事、ニュース、情報を毎日、見たり、読んだりする。 (課題発見力) ・企業活動がどのような原因で発生しているか考えてみる。 (創造力) ・企業活動の原因、企業の問題に対する対策を自分なりに考えてみる。 (発信力) ・教員からの発問に自分の意見を言うことができる。 ・授業の毎回の振り返りシートに自分の意見を書く。 (傾聴力) ・教員の講義、他の学生の発言に耳を傾け、どういうことを言っているか考え、自分自身の意見との違いを考える。 (規律性) ・5回の授業の実施に対し3回以上欠席した場合、授業を3回連続して欠席した場合はオフィスアワーに担当教員の研究室に行き、補習、助言を受ける。 |
| | | ② | | |
| | | ③ | | |
| | | | | |
| その他 | | | | |
| 総合評価割合 | 100 | | ✓ | 小テスト、レポート、学修態度の成績を総合して評価する。 |

【到達目標の基準】

| 到達レベル A(優)の基準 | 到達レベル B(良)の基準 |
|--|--|
| 授業内容の理解の上にとって、企業の行動の意味、原因、対策を自分なりに考えることができる。 新聞、テレビ・ラジオ、インターネット等の企業のニュース、情報にふれることが苦にならない。 | 学んだ用語(キーワード)を説明できるだけでなく、その知識を利用して、企業の行動の因果関係を説明することができる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|------|---|---------|-------------------------|---|-------|--------------|
| 1週 / | 会社の本質(売上による付加価値の創造)を知る 経営資源(人、モノ、金)を理解する | 講義 | ・経営資源とは何か、説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 2週 / | 企業のステイクホルダー(利害関係者=株主、従業員、顧客等)について理解する | 講義 | ・企業のステイクホルダーとは誰か、説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 3週 / | 株式会社のしくみ・特徴(株主、株式総会等)を理解する 資本関係からみた企業系列、親会社と子会社を理解する | 講義 | ・株式会社の特徴とは何か、説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 4週 / | 大企業、中小企業の定義を知る 中堅企業、ベンチャー企業を理解する | 講義 | ・大企業と中小企業の違いを説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 5週 / | 業種(産業、産業分類:1次産業、2次産業、3次産業)職種(分類)の意味を理解する 愛知学泉短大卒業生の就職した職種を知り、受講生が就職を希望する職種を考える | 講義 | ・業種、職種とは何か説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 6週 / | 企業が採用時に重視する能力を知る 職業・職種で求められる能力・スキルを知り、自分を知ることの重要性を理解する | 講義 | ・職種と能力・スキルとの関係を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 7週 / | 社員と取締役の違いを理解する 経営理念(社是・社訓)の意味、事例を知る 戦略、経営計画の意味を知る | 講義 | ・経営理念(社是・社訓)の意味を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 8週 / | 上場企業・非上場企業の特徴を理解する 株式市場、証券取引所の機能、役割を知る 株式上場の意味を知る / 小テスト実施 | 講義 | ・上場企業、非上場企業の意味を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようにする。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---------------|---|---------|--------------------------|---|-------|--------------|
| 9週 / / | 労働市場の意味を知る 採用、入社試験の意義を知る キャリアとキャリア開発の意義を知る | 講義 | ・労働市場における求人、求職の意味を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 10週 / / | 資格制度、職制と指示命令系統の意味を知る 人事考課(評価)制度、資格制度(資格等級制度)の意味を、事例を通じて理解する 社員教育、職業訓練の意義を知る | 講義 | ・人事考課、資格制度の意味を説明できる | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 11週 / / | 賃金制度(基本給、手当、賞与、退職金、定昇、ベースアップ等)の意味を知る 正規社員、契約社員、派遣社員、パートタイマーの意味、違いを理解する | 講義 | ・基本給、手当、賞与の意味を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 12週 / / | 手取り収入と源泉徴収の意味を知る 社会保険の種類、内容を理解する 福利厚生の意味と内容を理解する | 講義 | ・手取り収入と源泉徴収の関係を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 13週 / / | 働くときのルール(労働法、労働協約、就業規則、労働契約)の意味を理解する キャリアパス、自己申告制度、目標管理を知る | 講義 | ・働く時のルールの基本を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 14週 / / | 新規・中途採用の意味、現状を知る M字型カーブの意味、女性雇用関連の法律を知る | 講義 | ・M字型カーブの意味を説明できる。 | (復習)到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 (予習)次週の学修内容をふまえた予習課題を出すので自分なりの答えを考える。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |
| 15週 / / | 退職と解雇、退職金制度の意味を知る /小テスト実施 | 講義 | ・退職金の意味を説明できる。 | (復習)15回の到達レベルC(可)の基準ができるようになる。 | 180 | 傾聴力 課題発見力 |

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力